



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アールシーコア

コード番号 7837 URL <https://www.rccore.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二木 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務責任者 (氏名) 河村 隆之 TEL 03-5790-6500

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (上記の当社URLにて動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,481	△9.0	△420	—	△405	—	△415	—
2022年3月期第2四半期	8,223	7.9	△64	—	△81	—	△21	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △418百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△98.51	—
2022年3月期第2四半期	△5.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	11,498	1,777	15.5	421.25
2022年3月期	12,021	2,192	18.2	520.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,777百万円 2022年3月期 2,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	△10.0	△760	—	△820	—	△1,240	—	△293.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,536,400株	2022年3月期	4,536,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	316,970株	2022年3月期	320,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,216,791株	2022年3月期2Q	4,195,941株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2023年3月期2Q 316,738株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期2Q 319,415株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 .....	11
生産・受注及び販売の実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナ社会への緩やかな移行が進む中、物価高騰やエネルギーの供給不安などによる景気減速が懸念される状況です。また、国内経済は若干の持ち直しが進む一方、円安による物価高騰と消費への影響が強く懸念されています。

国内の住宅市場においては、9月の持家の着工戸数が13.3%減と10カ月連続で減少するなど、市場環境は依然厳しいものがあります。

コロナ禍で減少したLOGWAY（展示場）への来場者数も回復はみられず、前年同期比で90%にとどまっています。今期はこれらの課題への対応をはかるべく、多角的に当社事業の仕組みを見直してまいりました。

契約工期を短縮することで受注後の資材価格上昇の影響を緩和するとともに、顧客への価格提示方式を変更し、併せて地区販社との取引条件の改定、原価低減の推進など、収益改善に向けた対策に取り組みました。

しかしながら、販売価格の改定により個々の売上の収益力は改善したものの、一方で当社の主力商品の販売価格帯と従来の顧客層との予算面でのミスマッチが生じ、また矢継ぎ早な販売方式の変更が営業現場の混乱を招くなどしたことで、上期の受注件数が大幅に減少する事態となりました。

また、受注高の減少に伴うロイヤリティ収入の減少、資材価格上昇の影響による受注残物件の収益低下により、売上・利益ともに減少いたしました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は7,481百万円（前年同期比9.0%減）、連結営業損失420百万円（前年同期は64百万円の損失）、連結経常損失405百万円（同81百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は415百万円（同21百万円の損失）となりました。

また、連結契約（受注）高については4,407百万円（前年同期比47.9%減）、期末契約（受注）残高は9,279百万円となっております。

セグメント別の経営成績は以下の通りであります。

#### 直販部門

連結売上高の32.0%（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESS MAGMA」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県「BESS藤沢」の直営3拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

また、昨今の木造建築への社会的関心の高まりや、国の木造推進政策を後押しに、これまで当社が培ってきたBESSブランド、ノウハウを活用し、CLT（直交集成材）ログ建築による木造商業施設等の建設・販売等、BtoB市場の開拓を進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、期初の契約残高が前年同期よりも少なかったことから、セグメント売上高は2,394百万円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益は128百万円（前年同期比58.4%減）となりました。

セグメント契約（受注）高は、1,587百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

#### 販社部門

連結売上高の30.5%を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、セグメント売上高は、3,398百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は1百万円の損失（前年同期より236百万円減）となりました。

セグメント契約（受注）高は1,744百万円（同49.2%減）となりました。

#### 株式会社BESSパートナーズ

連結売上高の37.5%を占める国内連結子会社のBP社は、千秋（秋田県）、金沢（石川県）、熊谷（埼玉県）、水戸、つくば（茨城県）、富士、浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）及びその連結子会社である株式会社BESS札幌が担う札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が担う岐阜（岐阜県）による合計12拠点のBESS LOGWAYを営業拠点として、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、セグメント売上高が2,953百万円（前年同期比8.2%減）となり、セグメント利益は32百万円（前年同期比73.4%減）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は、1,559百万円（前年同期比60.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で523百万円減少の11,498百万円、負債は同107百万円減少の9,720百万円、純資産は同415百万円減少の1,777百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産の減少は、「現金及び預金」が507百万円減少したこと等によります。負債につきましては資金需要を補うため「短期借入金」が800百万円増加した一方、「長期借入金」の返済383百万円、および売上の減少に伴い「買掛金及び工事未払金」「前受金及び未成工事受入金」がそれぞれ266百万円、111百万円減少したこと等によるものです。

純資産の減少は、親会社株主に帰属する四半期純損失415百万円の計上によるものです。その結果、自己資本比率は15.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,621百万円となり、前連結会計年度末3,129百万円に対し507百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは770百万円の支出（前年同期は30百万円の収入）となりました。税金等調整前四半期純損失405百万円の計上に加えて、仕入債務の減少及び売上債権の増加等の資金減少要因が、減価償却の計上等による資金増加要因を上回ったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは89百万円の支出（前年同期は77百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは353百万円の収入（前年同期は1,021百万円の支出）となりました。これは長期借入金の返済額を短期借入金の増加額が上回ったこと等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2022年11月10日）公表いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,129,140	2,621,649
売掛金及び完成工事未収入金	1,499,711	1,613,137
リース債権	18,522	16,672
商品	453,856	424,232
貯蔵品	177,463	188,714
仕掛販売用不動産	729,660	746,737
未成工事支出金	116,967	71,334
その他	203,432	244,652
貸倒引当金	△102,736	△172,766
流動資産合計	6,226,016	5,754,363
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,210,600	3,210,600
その他	2,844,296	2,913,500
減価償却累計額	△1,401,846	△1,527,808
その他（純額）	1,442,449	1,385,691
有形固定資産合計	4,653,050	4,596,292
無形固定資産		
その他	178,281	185,629
無形固定資産合計	178,281	185,629
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	20,000
繰延税金資産	171,466	173,452
その他	788,604	784,243
貸倒引当金	△15,903	△15,671
投資その他の資産合計	964,167	962,024
固定資産合計	5,795,500	5,743,947
資産合計	12,021,516	11,498,311

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,984,338	1,718,334
短期借入金	1,800,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	846,257	806,522
未払法人税等	49,499	18,860
前受金及び未成工事受入金	808,633	697,348
契約負債	160,302	144,497
賞与引当金	53,721	38,826
役員賞与引当金	-	1,770
工事損失引当金	34	-
点検費用引当金	60,849	49,557
その他	551,442	503,702
流動負債合計	6,315,079	6,579,418
固定負債		
長期借入金	2,305,480	1,922,086
契約負債	133,673	133,931
退職給付に係る負債	82,518	78,562
株式給付引当金	40,433	42,193
役員株式給付引当金	126,715	141,732
資産除去債務	242,134	242,796
その他	582,727	580,172
固定負債合計	3,513,682	3,141,475
負債合計	9,828,762	9,720,894
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	671,858	671,858
資本剰余金	730,399	730,399
利益剰余金	1,119,796	704,390
自己株式	△347,661	△344,232
株主資本合計	2,174,392	1,762,415
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	18,361	15,001
その他の包括利益累計額合計	18,361	15,001
純資産合計	2,192,754	1,777,416
負債純資産合計	12,021,516	11,498,311

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	8,223,919	7,481,241
売上原価	5,969,275	5,849,405
売上総利益	2,254,643	1,631,835
販売費及び一般管理費	2,319,090	2,052,606
営業損失（△）	△64,446	△420,770
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,235	1,797
販売協力金	3,187	2,142
保険解約返戻金	2,993	2,856
受取和解金	—	32,000
その他	4,014	13,860
営業外収益合計	12,429	52,657
営業外費用		
支払利息	26,749	23,564
支払手数料	—	12,560
その他	3,102	1,088
営業外費用合計	29,852	37,212
経常損失（△）	△81,869	△405,325
特別利益		
固定資産売却益	16,903	—
特別利益合計	16,903	—
特別損失		
固定資産除却損	306	—
特別損失合計	306	—
税金等調整前四半期純損失（△）	△65,272	△405,325
法人税等	△43,301	10,080
四半期純損失（△）	△21,971	△415,406
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△21,971	△415,406



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純損失（△）	△21,971	△415,406
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△6,988	△3,360
その他の包括利益合計	△6,988	△3,360
四半期包括利益	△28,959	△418,766
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,959	△418,766

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△65,272	△405,325
減価償却費	131,262	153,665
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,558	69,796
株式給付引当金の増減額（△は減少）	5,630	5,217
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	17,833	15,016
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,529	△14,894
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	23,400	1,770
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3,055	△3,956
受取利息及び受取配当金	△2,235	△1,797
支払利息	26,749	23,564
固定資産除却損	306	—
固定資産売却損益（△は益）	△16,903	—
売上債権の増減額（△は増加）	△181,836	△111,576
棚卸資産の増減額（△は増加）	△88,446	46,928
仕入債務の増減額（△は減少）	356,547	△266,004
契約負債の増減額（△は減少）	△5,416	△15,547
前受金及び未成工事受入金の増減額（△は減少）	△182,525	△101,745
その他	△47,677	△98,956
小計	△27,556	△703,846
利息及び配当金の受取額	2,235	895
利息の支払額	△21,742	△23,560
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	77,841	△43,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,777	△770,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△48,820	△47,086
有形固定資産の売却による収入	16,903	—
無形固定資産の取得による支出	△21,426	△47,970
貸付金の回収による収入	452	464
差入保証金の差入による支出	△15,467	△119
差入保証金の回収による収入	565	836
その他	△9,704	4,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,497	△89,765
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,900,000	800,000
長期借入れによる収入	1,600,000	—
長期借入金の返済による支出	△668,525	△423,128
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,745	△23,231
配当金の支払額	△45,402	△511
その他	—	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,021,673	353,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,955	△743
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,066,438	△507,491
現金及び現金同等物の期首残高	5,174,877	3,129,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,108,438	2,621,649

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P 社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,709,408	2,354,571	3,159,939	8,223,919	—	8,223,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,182	1,250,432	59,230	1,310,844	△1,310,844	—
計	2,710,590	3,605,003	3,219,170	9,534,763	△1,310,844	8,223,919
セグメント利益又は 損失 (△)	308,240	234,799	120,799	663,839	△728,286	△64,446

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去△77,445千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△650,841千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II. 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P 社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,393,451	2,278,470	2,809,320	7,481,241	—	7,481,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,367	1,119,626	144,659	1,265,652	△1,265,652	—
計	2,394,818	3,398,096	2,953,979	8,746,894	△1,265,652	7,481,241
セグメント利益又は 損失 (△)	128,173	△1,279	32,182	159,077	△579,848	△420,770

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去11,140千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△590,988千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 生産・受注及び販売の実績

## ① 生産実績

当社グループが営む事業では、生産実績を定義することが困難であるため、記載しておりません。

## ② 受注実績及び販売実績

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第2四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第2四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第2四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高	
							(千円)	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	69,829	146,973	216,803	120,962	95,840	—	—
	ログハウス等工事	4,980,976	2,272,189	7,253,165	2,487,583	4,765,582	43,600	2,364,657
	その他	—	17,054	17,054	100,862	317	—	—
	(小計)	5,050,805	2,436,218	7,487,023	2,709,408	4,861,740	43,600	2,364,657
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,690,063	2,149,764	4,839,828	2,044,430	2,795,397	—	—
	その他	—	—	—	310,140	—	—	—
	(小計)	2,690,063	2,149,764	4,839,828	2,354,571	2,795,397	—	—
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	—	23,577	23,577	23,577	—	—	—
	ログハウス等工事	4,908,912	3,845,005	8,753,917	3,130,963	5,622,954	34,208	3,151,657
	その他	—	—	—	5,399	—	—	—
	(小計)	4,908,912	3,868,583	8,777,495	3,159,939	5,622,954	34,208	3,151,657
合計		12,649,781	8,454,566	21,104,347	8,223,919	13,280,093	77,808	5,516,315

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第2四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第2四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第2四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高 (千円)	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	171,439	162,203	333,643	213,834	119,808	—	—
	ログハウス等工事	4,425,143	1,413,083	5,838,226	2,082,376	3,755,850	69,593	2,040,075
	その他	460	11,946	12,406	97,239	—	—	—
	(小計)	4,597,043	1,587,232	6,184,276	2,393,451	3,875,658	69,593	2,040,075
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,570,911	1,432,101	4,003,012	2,154,295	1,848,717	—	—
	その他	—	—	—	124,174	—	—	—
	(小計)	2,570,911	1,432,101	4,003,012	2,278,470	1,848,717	—	—
B P社	ログハウス等 部材キット販売	15,182	18,453	33,636	29,928	3,707	—	—
	ログハウス等工事	4,956,145	1,369,515	6,325,661	2,774,658	3,551,002	27,384	2,771,163
	その他	—	—	—	4,733	—	—	—
	(小計)	4,971,327	1,387,969	6,359,297	2,809,320	3,554,710	27,384	2,771,163
合計		12,139,282	4,407,303	16,546,586	7,481,241	9,279,086	96,977	4,811,238

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。